

妻ヶ丘中学校だより

令和6年10月30日 校長 深江 祐史

生徒会任免式が行われました

10月23日(水)に生徒会任免式が行われました。これまで約1年間にわたって本校生徒のために尽力した現3年生を中心とした旧生徒会に感謝状が授与されました。代表で 吉留 鳳将 旧生徒会長が以下のようなあいさつを行いました。

皆さんこんにちは、旧生徒会長の吉留 鳳将 です。1年間ありがとうございました。

最初は、不安と緊張で一杯でしたが、見守ってくださった先生方、サポートしてくれた生徒会の仲間たちのおかげで、1年間、無事にやり遂げることができました。

私はこの1年間、妻ヶ丘中の生徒会長としてふさわしい行動を心がけてきたつもりです。常に責任感を持って行動することは、とても大変なことでしたが、これまで体験したことのない、例えばボランティアの運営などをさせてもらう中で、それを意識してきました。

そんな中、学んだことは、運営の難しさや学校という大きな組織で何かを決まり事を変えるには、たくさんの段階を踏み、話し合いを重ねなければならないこと、そして私たち生徒からの視点だけでなく、色々な方向から物事を考えなくてはならないことです。全てが簡単に思ったとおりに進む甘い世界じゃないことが分かりました。だから、その部分は、あまり皆さんの期待に応えられなかったかもしれません。その点は申し訳なく思っています。

でも、多くの皆さんの協力で取組が上手くいったとき、ボランティアの方々や地域の方々に褒めってもらうことも多く、その時は素直に嬉しかったです。

これまで、生徒会活動に協力してくれた全校生徒の皆さん、本当にありがとうございました。引き続き、新生徒会もよろしくお願いします。

24名の新生徒会、全校専門委員会の皆さん、最初は、生徒会として仕事をしていくことはとても大変だと思いますが、1年間、自分の精一杯を尽くせるように、周りの仲間と協力し合い頑張ってください。

最後に、一年間ともに支え合ってくれた旧生徒会、全校専門委員会のメンバーの皆さん、先生方、とても感謝しています。本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



つづいて、先日の生徒会役員選挙で当選した生徒会執行部と新専門委員会のメンバーが紹介され、全員に任命状が授与されました。そして、今度は新生徒会を代表して、岩谷 尚憲 新生徒会長があいさつを行いました。

みなさん、こんにちは。この度、妻ヶ丘中学校の生徒会長になりました岩谷 尚憲 です。

ぼくは、昨年度、生徒会役員として働き、先輩の背中を見ながら、学校そして地域のために活動する中で「やりがい」を感じてきました。その経験を活かし、今年1年間、生徒会長を全うしていきたいと思います。

みなさん、学校を創っていくのは生徒会ではありません。みなさんです。僕は、皆さんとともによりよい妻ヶ丘中をつくり、地域に貢献していきたいと思っています。皆さん、一緒に最高の学校を創っていきましょう。一年間、どうぞよろしくお願いします。



実に素晴らしい新旧2名の生徒会長のあいさつでした。最後に校長より以下の話をさせてもらいました。

一昨日、朝のことです。ある小学校の校長先生から私に電話がありました。「校長先生、中学生ってすごいですね。一緒に活動してみても驚きました。小学生とは違いますね。本当に感動しました」

しばらくすると、妻ヶ丘地区まちづくり協議会の会長さんが校長室においてになられました。「今日は、お礼を言いに来ました。本当に中学生には助けてもらいました。そして盛り上げてくれました。地域の方々もとても喜んでおられました」

お二方とも、日曜日の行われた「妻ヶ丘地区ふれあい祭り」に多くの中学生が、前日の準備から当日の本番まで、ボランティアとして、スタッフとして、出演者として祭りを盛り上げてくれたことに非常に感謝、そして感激されておられました。

土曜日、日曜日、力を貸してくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。

妻ヶ丘中の生徒が本格的にふれあい祭りに関わるようになって2年目となりますが、始まりは、その前の生徒会役員、今の高校2年生の先輩方の時です。コロナで4年間中止になっていた祭りを何とか復活させたい、盛り上げたいと願っていた地区の役員の方々が、今後の祭りについて話し合いの場を設けられました。その会に、当時の生徒会役員が参加した。これがきっかけでした。

この時の生徒会役員が、会の中で・・・であれば、こんなアイデアがありますよ。中学生もこんな形なら協力できますよと提案したのが始まりです。その次の年、昨年度になりますが、たくさんの中学生在ボランティアとして祭りに参加し、盛り上げてくれました。

そして、本年度でした。どうなるかなと楽しみにしていましたが、プレッシャーに負けることなく、本年度のメンバーらしい新しい企画・運営・演出で、実に楽しく、多くの地域の方々が楽しめる祭りになりました。

この祭りに関しては、昨年度もそうなのですが、先生方にはできるだけ、手を貸さないでくださいとお願いしてあります。本当に困った時だけ、助けてくださいとお願いしています。

この辺りは、今年の生徒会のメンバーはよくわかっていて、私も祭りの内容を検討する企画推進会議を見学に行きましたが、実に積極的な意見を出していました。自分たちのことだけでなく、地域の方々のことを考えた、とても主体的な関りだったと思います。簡単に言えば、本気になって取り組んだということでしょう。

先ほど、小学校の校長先生から、中学生がここまでやるとは思わなかったと言われたことを話し

ましたが、私は、違います。みなさんが、本気を出せば、このぐらいのことはできていると思っています。

ただ、不思議なのは、世の中の大人は、意外にそのことを知らないですね。皆さん方は、そんなお子ちゃまではないのに・・・とつねづね私は思っています。

とにかく、地域の役員の方々と一緒に、たくさんの地域住民、子どもからお年寄りまでを笑顔にした、それは皆さんの力だけではありませんが、皆さんの力は大きかったということです。実に素晴らしい取り組みだったと思います。今回、部活動等の関係でボランティアに参加できなかった皆さん、機会があれば、ぜひ次の機会は参加してみたいかがでしょうか。

さて、いつも言っていることですが、この素晴らしい生徒会執行部を選んだのは、皆さん方です。皆さんが選挙で選んだのであって、先生方が選んだわけではありません。そう考えると、皆さんの見る目は正しかったということです。誇らしく思ってよいことだと思います。

旧生徒会の皆さん、本当によくやりました。吉留会長を中心によく頑張りました。また、3年生を中心に下級生も含め、たくさんの協力ももらいましたね。これは、感謝ですね。だから多くの取り組みが成功したのだと思います。

さあ、新生徒会役員のみなさん。いよいよバトンタッチです。多少の失敗はあるとおもいますが、おそれずに仲間と一緒に頑張ってください。皆さんの先輩方もトライ&エラーを繰り返しながら、すこしずつ、そしてたくましく成長していきました。新生徒会長である 岩谷 さんを中心に、妻ヶ丘中の新しい生徒会を作り上げてください。どうぞよろしくお願いします。

それでは、最後に昨年度もこの言葉を伝えたいと思いますが、「早く行きたければ一人で行け遠くまで行きたければ、みんなで行け」アフリカの古いことわざです。生徒会役員の皆さん、常に「みんな」を意識してください。「みんな」の力をうまく引き出し、「みんな」をリードし、「みんな」と一緒に進むことができれば、夢のようなことが実現できるかもしれません。勉強があったり、部活があったり、塾があったりと、少し忙しくなると思いますが、「みんな」のためにどうぞ頑張ってください。

全校生徒の皆さん、妻ヶ丘中学校は皆さんの学校です。新役員と力を合わせて、どうぞ素晴らしい学校にしてください。期待しています。

新旧生徒会執行部及び専門委員会 (○専門委員長 ●専門副委員長)

委員会	旧役員	新役員
中央委員会	生徒会長:吉留 鳳将 副会長:長峯 よつ葉 :松山 佳奈依 :鶴田 蓮 書記:巢立 大海 会計:岩谷 尚憲	生徒会長:岩谷 尚憲 副会長:鶴田 蓮 :エンフタインテンゲルバヤル :大橋 ゆい 書記:東浦 巧 会計:千代反田 蒼
学習委員会	○黒木 鈴沙 ●川崎 清美 ●夏田 貫太	○夏田 貫太 ●隅倉 莉央 ●松本 健吾
生活委員会	○内田 裕唯 ●隈元 心 ●高山 コウタ	○平島 蓮 ●高山コウタ ●野平 希来

整備委員会	○岩崎 航大 ●南崎 友希 ●長谷場 海虹	○長谷場 海虹 ●大山 慈雨 ●エンフタイワンツェツエンジェルガル
保体委員会	○池口 奈那 ●前田 兼宗 ●小川 翔大	○小川 翔大 ●塚田 心花 ●上川 葦織
文化委員会	○上川 珠生 ●久保 咲羽 ●浅岡 結愛	○浅岡 結愛 ●甫木 優菜 ●新名 彩乃
給食委員会	○竹之下 大和 ●西川 政弥 ●エンフタイワンテンゲルパヤル ●中竹 萌々菜	○中竹 萌々菜 ●富田 乃愛 ●宇崎 千絢

妻ヶ丘地区ふれあい祭りが行われました

本年度も、生徒会執行部がまつりの実行委員の方々と複数回の会議や打ち合わせを行い、当日を迎えました。以下は、前日の準備、当日のまつりの生徒の様子です。

<10/19(土) 前日準備>



<10/20(日) まつり当日>





以上のような様子でした。

写真を見ればお分かりのように、生徒は、幼児から高齢者まで多くの地域の方々とふれあいました。まさに「ふれあい」祭りだと感じました。

もちろん生徒は、地域の方々からさんざん褒められたのですが、「抽選券はもうないんですか」「〇〇の場所はどこですか」中には「説明がよく分からない」と苦情を言われる地域住民や説明をちゃんと聞いてくれない小学生を相手に四苦八苦している姿もとてもよかったです。やっぱり自分のことを全く知らない他者とコミュニケーションを図るのは、けっこう大変だと実感したと思います。

以上、旧生徒会を中心とした今年最後の取組が無事終了しました。来年のことは、また新しい生徒会が引き継いでくれることでしょう。妻ヶ丘のジャージが、スタッフジャンバーのように見えて一体感もあり、とても頼もしく見えた一日でした。

ボランティアに参加してくれた生徒の皆さん、まつり実行委員の方々、大変お疲れさまでした。